

ユーザーが求める職場の情報をスムーズに発信するために。

障害者採用Webページの監修 業務内容

社会の課題

障害者の就労・転職において、**採用ページの情報は、応募者の心を掴む大きな鍵になります。**障害者採用が盛んになる一方で、職場環境や制度の発信不足が原因で、**採用後にミスマッチが発覚する事例**が増えています。長く働くことができないなどの課題から、事前に環境や制度を知ることのニーズが高まっています。専用の転職情報サイトなどの活用も可能ですが、情報量や見せ方が制限されるため、差別化に繋がりません。

また、雇用をゴールとせず、働き続けやすい職場を構築するためには、企業側も**現在の職場の状況や応募者のニーズを正しく理解すること**が重要です。自社採用ページの情報を充実するプロセスを通し、応募者の心を掴むだけでなく、**障害者雇用を続ける上での意識の基礎を構築する**お取り組みをご提案します。

業務プロセス

- ① **職場環境・制度チェックシート記入**：
貴社にて専用のチェックシートへのご記入と、各設備の写真撮影をお願いします。
- ② **原稿の作成**：
チェックシートをもとに、弊社にて掲載用の原稿を作成します。
- ③ **カンパデータの作成**：
原稿をもとにして、カンパデータやPDFデータなどをご提供します。

Webページレイアウト

Webへの掲載情報は、以下の4つの項目を考えています。実際の業務ではご提出いただいたチェックシートから掲載すべき情報を抽出し、Webレイアウトを構築します。

設備・サポート紹介：設備や配慮の充実度から自身が働くことができる環境であるかを判断することができます。

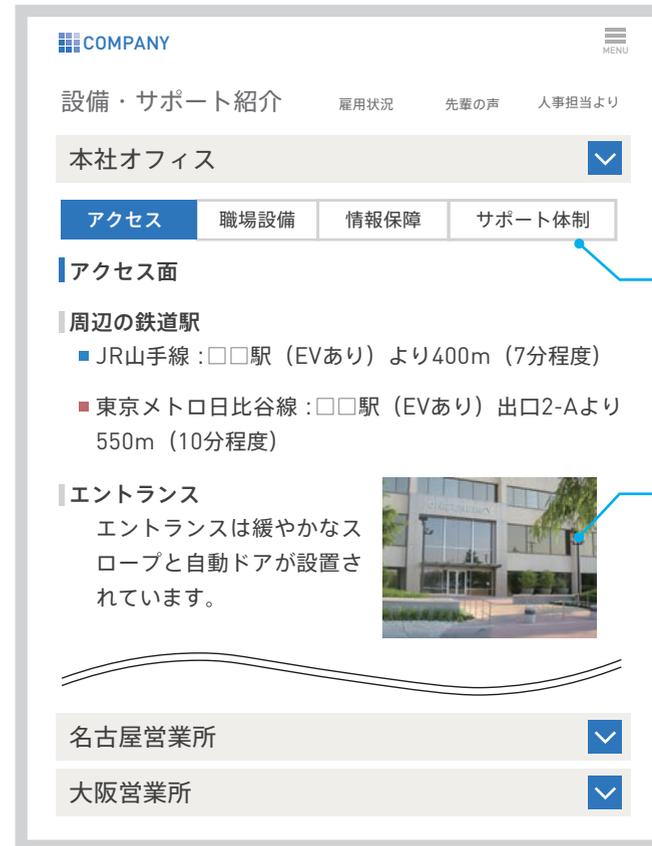
雇用状況：自身と同じ障害のある方が働いていることが、安心に繋がります。

先輩社員の声：実際に働いている社員の方がどんな想いで働いているかを知ることが、安心や職場の魅力に繋がります。

人事担当メッセージ：就労後は、人事の方に様々なサポートを依頼することになります。その人たちの顔や思いが伝わることで安心に繋がります。

完成イメージ

本業務を通して、閲覧者が求める情報を抽出します。以下のように情報の掲載例と、その情報がどのような効果があるかをご説明します。



各拠点のアクセスや職場の環境や配慮を知りたい



設備・サポート紹介

好事例の採用ページを参考に、「設備・サポート」の紹介部分では、さらに4つの側面から、環境や職場での工夫などを紹介します。

各拠点のアクセスや入口、トイレや執務空間の写真を含めた詳細を知ることによって、自分自身が働ける環境か否かを判断できます。

バリアフリー情報だけでなく、休憩場所の有無などについても調査・掲載を行い、応募側の多様な障害のある方々にとって、安心できる発信に繋がります。



他の会社との違いや工夫や思いを知りたい。



人事担当より

障害者雇用に取り組む企業は数多くあります。その中での差別化の一つに現場の見える化があります。

就労の上で、人事側の取り組みの実績などがあることで、安心感につながる情報についてご提案をします。